

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	臨海部整備推進事業(北泊地)				シート番号	017-055
担当部署名	建築都市	局	都市再生	部	臨海整備	課 評価責任者(課長名)
						福知

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	都心地域や各地域拠点の活性化	無
	2	事業開始年度	平成 21 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	港湾法			
	4	関連計画	堺臨海部再生・創造ビジョン			
5	事業実施の経緯	近年、堺浜では海とのふれあい広場(基幹的広域防災拠点)、J-GREEN堺等の整備が進み、活性化されてきた。それらに囲まれた北泊地は航路として利用されていたことから、水深が深く、窪地形状になっており、海水の出入りや交換が少ないため、水質が悪化している。そこで、国や大阪府が実施している海域の水質改善とあわせて、本市でも海浜整備をし、海にふれることのできる親水空間を提供している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	対象者: 親水空間及び海浜を利用する市民及び市外からの来訪者 対象地域: 北泊地			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺臨海部再生・創造ビジョンに示した、水質の改善による大阪湾の再生と環境負荷の軽減により、良好な生態系を生み出し海辺の環境改善を図る。さらに、自然環境の再生を進めていくことで、砂浜などに集まった人々の交流を拡大させ、賑わいを創出し、人や生き物、環境にやさしい魅力あふれる親水空間を提供する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	砂浜を造成し、その水質浄化や自然回復の能力を検証するとともに、砂浜ならではのイベントなどを通して、堺浜のにぎわいづくりを行う。 防災緑地と一体的に管理している海とのふれあい広場において、施設の改修などを行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 建設コンサルタント				

Ⅲ. 投入量

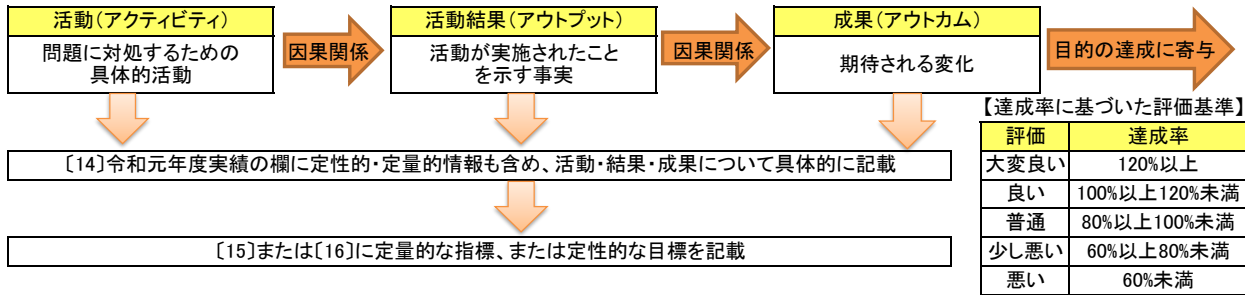
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	11,331	8,650	12,767	14,259	9,093	8,540	17,843
	海浜モニタリング	千円	9,777	7,871	10,485	9,647	7,933	8,290	9,276
	工事請負費	千円							6,080
	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他(事業負担金)	千円		778		1,966			
12	人件費 (b)	千円	9,840	8,200	8,200	9,840	5,670	5,670	5,740
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	21,171	16,850	20,967	24,099	14,763	14,210	23,583

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	臨海部整備推進事業(北泊地)	シート番号	017-055
-------	----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14 海辺の環境改善や賑わいの創出に向けて、大雨等の際には特に大量に砂浜に漂着するゴミの清掃、砂浜としての維持、安全確認などを行った。砂浜清掃については、市職員による清掃や清掃業務として委託発注したほか、企業等と協働による清掃活動を実施した。砂浜としての維持については、砂が波や潮の流れにより、南側等に流出していくことから、砂を補充する養浜工事を実施した。砂浜の安全確認については、職員による巡視や清掃時に異常があれば報告させるなどを行い、安全確保に努めた。海辺の環境改善については、現在の海の状況や砂浜の整備に伴う効果等の把握のため、水質調査を行った。							
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	生物観測数	種	目標値	33	33	33	36
				実績値	31	24	36	
				達成率	94%	73%	109%	
				評価	普通	少し悪い	良い	
	算出方法・設定根拠など		モニタリング調査					
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16	事故発生件数	件	目標値	0	0	0	0
				実績値	0	0	0	
達成率				100%	100%	100%		
評価				良い	良い	良い		
算出方法・設定根拠など		賠償責任保険適用件数						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	生物観測数	種	31	24	36
	②	上記①にかかる年間経費		15,332	16,304	13,794
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)		494,581	679,333	383,167
	備考(算出についての説明等)		海浜モニタリングに関連する経費(水質調査、養浜工事等)及び人件費			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)				
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>○生物観測数 平成30年度は大規模台風による影響のため観測数がかなり減少したが、令和元年度は平成29年度より多くの生物が観測された。</p> <p>○事故発生件数 砂浜に砂を補充する養浜工事や巡視、清掃等を実施し、砂浜の安全な利用が図れるよう、適切な維持管理に努めた。</p>

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	臨海部整備推進事業(北泊地)	シート番号	017-055
-------	----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 実験の場として人工的につくった海浜であるが、海にふれあえる市民の憩いの場となっている。 事業が廃止されると、漂着ゴミにより海辺の環境が悪化し、波や風により砂浜が侵食され、そこに生息する生物とも砂浜が減少し、市民が海とふれあえる親水空間を提供できなくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民が海とふれあえる親水空間を提供できなくなる。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 砂浜等の親水空間を安全かつ適切に維持管理するため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 市民が海とふれあえる親水空間として適切に維持管理するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染予防のための行動について、ポスターやホームページ等により利用者へ周知するとともに、大阪コロナ追跡システムを利用している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 海浜の清掃活動について、企業等との「市民協働」で行っている。 海辺の環境改善について、国や大阪府と連携しながら取り組んでいる。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	海から漂着するごみ処理にかかる収集費と処分費の縮減に向けて、周辺企業や関係者による清掃活動を拡充するなど、さらなる協働を進めながら、市民が海とふれあえる親水空間を提供する。砂浜を維持し、水質改善の検証を続けるとともに、砂浜の認知度向上を図る。		